

# シリアルで桜を植えたお話

佐藤 義隆 (駒16)



2011年、紛争直前のシリアに日本の桜を植えるプロジェクトを立ち上げた佐藤義隆氏にご寄稿いただきました。



第112号

2023年9月1日発行

一般財団法人  
駒場松桜会

都立駒場高校同窓会

〒153-0044  
目黒区大橋2-18-1  
都立駒場高校内

TEL/FAX

03-3466-7579  
(毎月曜日の業務日  
以外は留守番電話)

携帯電話から住所  
変更ができます。



住所変更専用  
QRコード

### 奇跡の桜

## シリアルに咲く

2011年春、シリア内戦のさなか、日本から植樹活動のボランティアとして派遣された佐藤義隆氏が、シリアの内戦前に植えられた一本の桜が咲いていた。シリア政府が実施する「シリアの花」プロジェクトなどでは約4万人が関わるなど、復興の途上にあるホンムス。住むたちは、空爆で生き延びた桜を日本とシリアの友好の証としてめでている。

**伽本植物 戰火生き延びた1本**

### 「友好の証し」地元男性 懸命に世話を



東京新聞 2022.4.13 (記事1)

後にシリアに内戦が突如勃発。その理由はシリア人達にも私達にも全く理解できないものでした。内戦は激しくなるばかりで、シリアに植えた桜は全滅したと聞きました。協会の活動は平和になつてからということにして、休止しました。ところがメディアはシリアの桜がどうなつたのかに関心があるようで、NHK-TV「これでわかつた世界のいま」に取り上げられ、東京新聞は独自に調査して1本だけホムス市内に残つてることを見つけ出し、記事にしてくれました。

2) シリアは国外では悲惨な難民問題を抱えています。その様な状況下で桜を植えることは難しかった。ホムスでは管理人にお札を現地の人達と共に植樹しました。ホムスでは管理人にお札を

業大臣やダマスカス市長も加わり、市内5箇所とホムス市に現地の人達と共に植樹しました。ホムスでは管理人にお札を

業大臣やダマスカス市長も加わり、市内5箇所とホムス市に

う安全だから来ても大丈夫だと

半信半疑のまま苗木50本を持った一人で出かけました。(途中で二人が合流しました。) 空港が破壊されて使えないのにレバノンからの陸路で入りました。

すべての始まりは35年前の、教え子(東京高専卒業生)から の1本の電話からでした。「今職場の同じチームにJICA(国際協力機構)の研修員として来日している面白いシリア人がいます。紹介したいので今度の飲み会に来ませんか」というお説いで、私は出かけて行き、そのシリア人と知り合いました。彼(Dr.ムスタファ)と何度か会っているうちに、シリアに興味を持つた私は翌年シリアに一人で出かけ、路線バスを乗り

継いで国内一周8日間の旅をしました。そこで出会った人達は皆とても優しく、治安は大変良く、壮大な遺跡も沢山あります。しかし、「シリアルって、何て素晴らしい国なのだろう! 日本にシリアルをいいつか紹介したい」と強く思いました。

次にシリアルを訪れたのは20年後で、シリアルの素晴らしさを一層強く感じました。ムスタファさん宅に滞在し雑談をしていた時、「ダマスカスに桜があればいいなあ」という話に発展しました。桜は日本を代表する花です。

職者、主婦など12名が参加し、100本の苗木を持って10日間の予定で出かけました。シリア側は、ムスタファとJICA研修生OB会(JAAS)が中心になつて、農業大臣、環境大臣もメンバーに加わり、一般市民と共にシリアの10箇所に新聞やテレビの取材を受けながら植樹

してきました。日本からは学生、定年退職者、主婦など12名が参加し、100本の苗木を持って10日間の予定で出かけました。シリア側は、ムスタファとJICA研修生OB会(JAAS)が中心になつて、農業大臣、環境大臣もメンバーに加わり、一般市民と共にシリアの10箇所に新聞やテレビの取材を受けながら植樹してきました。私は何度も写真を見ていて、うちに管理人に会いたくなりました。しかしシリアルは内戦中です。外務省渡航情報はレベル4で、行つてはいけない国になつています。ムスタファに連絡すると、シリアルはも

う安全だから来ても大丈夫だと

半信半疑のまま苗木50本を持った一人で出かけました。(途中で二人が合流しました。) 空港が破壊されて使えないのにレバノンからの陸路で入りました。

駒場松桜会(第三・駒場高校同窓会)会報 第112号

されました。私は、シリアの人達は私達が来たことを喜んでくれているのだと知り、思わず胸が熱くなりました。何年か経つてシリアに桜の花が咲くと、皆さんにはシリアの花

**プロフィール (自己紹介)**

1946年生まれ。駒場高校では柔道部に所属。勉強は授業を聞く程度で、柔道のことばかり考えていた。

1964年 駒場高校卒業。一浪して某大学理学部化学科に入学したが抽象代数学に惹かれ、翌年埼玉大学数学科に入学し、卒業後金沢大学大学院へ進学。修士修了時に、国立東京工業高専の公募に応募し採用された。教職に就いて高専教育の素晴らしさに感動! 科研費を得て中東・アジア14カ国 の教育調査を行った。日本数学教育学会の中に「高専・大学部会」を創設し、そのジャーナルも創刊。(これらは30年経った現在、学会の中心的活動の一つに成長している。)

国立高専協会賞、学会功労賞受賞。

2009年 名誉教授として東京高専を退職し、芝浦工業大学デザイン工学部教授に就任。シリアに桜を植えたのはこの頃である。

2016年 70歳で全ての仕事を辞した時、モンゴルに新設された3つの工業高専から数学教育改善の相談を受け、顧問・客員教授として赴任。

2018年 ハンガイ大学教授も併任。モンゴルは国の発展のためには工業を発展させることが急務であるが、牧畜国家であったために、技術者育成教育の経験は皆無であった。先ず私は数学の主要5分野のモンゴル語版教科書の編集・出版を行った。コロナ禍により4年間の日本待機となり、計画は遅れている。

「シリアの桜」も含めて、私はかなり自由な生き方をしてきたが、その原点には駒場高校がある。明るくて自由で品の良い校風の駒場に所属できたことに大きな誇りを感じている。



見の様子を新聞などでご覧になる機会があると思います。その時、その桜にはこの様な経緯があつたことを思い出していただけますと嬉しいです。

(参考HP「日本シリア親善協会」)

東京新聞 2022.12.27 (記事2)

## 令和5年度松桜会コンサート 北川暁子ピアノリサイタル

出演：北川暁子（駒15）

日 時：令和5年11月25日（土）  
午後2時開演（午後1時30分開場）  
場 所：東京オペラシティリサイタルホール  
入場料：3,000円（高校生以下1,000円）  
全席自由

### 出演者プロフィール

L.コハーンスキー、安部幸明、R.ハウザー各氏に師事。武蔵野音楽大学卒業。オーストリア国立ウィーン音楽アカデミーを最優秀で卒業。演奏活動40周年の2004年にはベートーヴェンのピアノソナタ全32曲、ピアノ協奏曲第4番・5番の連続演奏会を開催。来年は演奏活動60周年を迎える。東京藝術大学音楽学部名誉教授。

### プログラム

- |       |   |
|-------|---|
| ショパン  | ・即興曲第2番 作品36<br>・マズルカ 作品30<br>・スケルツォ第2番 作品31<br>・子守歌 作品57<br>・ポロネーズ「英雄」作品53<br>・道化師の朝の歌 |
| ラヴェル  | 組曲「イベリア」より<br>・トゥリアーナ<br>・エリタニヤ 他   |
| アルベニス |   |

お申込は、松桜会事務局に、はがき、FAXまたはメールで、氏名、卒回、住所、電話番号、参加人数を明記の上、11月10日(金)必着でお願いいたします。

FAX : 03-3466-7579

Mail : komaba999@komaba.or.jp

## 松桜会コンサート 見どころ・聴きどころ



©中村悟郎

ております。

今回、松桜会コンサートにお声をかけて頂き、懐かしく嬉しく存じました。

振り返れば、ピアノを通してさまざまなお音楽形態を経験し楽しんで参りました。ピアノソロのみならずオーケストラとの協奏曲や、他の楽器とのアンサンブル、特にピアノトリオを組んで定期的にコンサートを開いた時期もありました。妹がヴァイオリンとのアンサンブルはあらかじめ経験する事が出来ました。

私が駒場高校音楽科に在籍したのは1960年から1963年の3年間、もう半世紀以上も前の事となります。でも、校庭の隅にあつた、元馬小屋だと言う音楽科の校舎は今だに鮮明に憶えております。8クラスあるうちの8ホール

が「芸術科」で、音楽30人と美術20人の小所帯で、皆仲良く和気藹々と過ごしました。進学した大學も大体音楽方面でしたので、その後の連絡も取り易く、何年かに一度はクラス会を持ち現現在に至ります。

今ここで、ピアノという楽器の特性を生かし切って作品を生み出した作曲家を考えてみますと、まずショパンでしょう。彼はピアノ演奏の大家であったと同時に優れたピアノ作品を多く残してくれました。ピアノ作品を多く残してくれました。又、現代に近くなつてから

はアルベニスのような演奏の天才も、前人未踏のような難しい作品を残しています。今回はこれら傑作を皆様と一緒に楽しみたく、プログラムを立ててみました。ショパンは、伝記などから察するのではなく、作品の内容から推測するだけでも、大変繊細な神経の人物であったと思います。しかし、その中に意外な大胆さを秘めている事は驚きです。それは誰にでもすぐ訴えるような性質のものではなく遠慮がちである事が、いかにもショパンらしく感じられます。それと対照的に、アルベニスは端から誰も考へつかなかつたような演奏テクニックを駆使し、効果満点の世界を生み出しており、驚嘆するのみです。それぞれに違うピアノの世界を楽しんで頂けましたら幸いです。

北川暁子

# 「伝統は革新の連続である」新校長 小澤 哲郎



駒場松桜会会報に掲載していただき、同窓会の皆様にご挨拶できることを光栄思います。日頃より、卒業生の皆様には多大なるご支援を頂戴し、教育活動の充実を側面からお支えいただいていることに対して、深く感謝申し上げます。府立第三高等学校を積み重ねてきた駒場高校は、常に多くの卒業生の皆様に見守られて発展してきました。

振り返れば、男女共学化、保健体育科の併設、学区撤廃など、数多くの教育行政の転換点を通して、新生駒場とともに新たな一步を踏み出してきましたが、学校の主役であり、将来は松桜会を担う生徒たちも、時代と共に変容しています。ましてや、コロナ禍のため、中学高校での学校生活に大きな制約を受けた今の在校生世代は、考え方や気質が変わらないという方が不思議です。

今年度の進路希望調査では、全学年で国公立を目指す生徒の数が減少し、早慶上理などの難

関私大を志望する生徒の数も伸び悩んでいることが明らかになりました。7年から10年後には、現在約8万人程度である中学校卒業予定者数が6万6千人程度に激減する見込みです。公私6校にそらく公立の定員割れは拡大の一途を辿るでしょう。もはや、臨時学級減で対応できる規模ではなく、必ずや大規模な学校統廃合が行われます。今まさにその始まりの時です。今すぐに手を打たなくては、進学校として立つ、という駒場の矜持を守ることはできません。

進学校の価値は、受験指導ではなく進学指導を行う力量があるかどうかによって決まります。生徒が、将来どのように社会とかかわりたいのかを考え、真に学びたいことは何であるかを自覚し、そのためには最適な進路は何で、それに近づくために駒場高校で何にどう取り組めばよいのかを理解して実践する。そのように導いていくことが大切です。

伝統は革新の連続です。変化を恐れず、時代を嘆かず、松桜会の皆様のお力を借りしながら、教職員一丸となって、進学校として立つための改革を進めていきたいと思います。

母校の校長先生が4月1日付で替わられました。前任の小林正基校長先生は、ご在職の2年間いつも爽やかな笑顔で松桜会にご協力くださいました。新任地でのご活躍を祈念いたします。

ご着任の小澤哲郎校長先生は企業勤務のご経験がおあります。英語がお得意で入学式の式辞を英語でも述べられたのはサプライズでした。今年度も母校への助成金(50万円)贈呈を校長室で行いました。



## 母校生徒の活躍 (6月現在)

◎男子バスケットボール部	・関東大会東京都予選ベスト32
◎女子バスケットボール部	・関東大会東京都予選 第8位 (関東大会出場)
◎水泳部	・東京都高校春季水泳競技大会 男子 総合第5位 100mバタフライ第7位 女子 50m自由形優勝 100m背泳ぎ優勝
◎体操競技部	400mフリーリレー第8位 400mメドレーリレー第8位
◎陸上競技部	男子 平均台第2位 ゆか第2位 女子 段違い平行棒第5位
◎剣道部	男子 ベスト24 ベスト40 2名 ベスト72 (1207名中)
◎柔道部	男子硬式テニス部 ・東京都高校テニス選手権大会 団体第5位 個人ベスト24 ベスト40 2名 ベスト72 (1207名中)
◎百人一首部	男子 ベスト32 女子団体ベスト16 個人戦第5位 4名
◎放送局	全国高校総合文化祭 東京都代表選考会 東京都代表選手に1名選抜 (全国大会出場)
◎KMC	MUSIC DAYS 2023 東京大会 本選進出 (上位18バンド内入り)
男子	・国民体育大会東京都予選 跳馬第3位
女子	・国民体育大会東京都予選 跳馬第5位
団体総合優勝	・個人総合第4位
(関東大会出場)	くお願いいたします!

## 馬渕理事長からのご報告

### 松桜会の行事・活動について

### 松桜会事務局からのお知らせとお願い

#### ◆「同窓の集い」について

来年度の開催については、見通しが立ち次第ホームページでお知らせいたします。

#### ◆コチロンについて

「コチロンを踊る会」の例会は、引き続き休会とします。再開する際はホームページ・会報でお知らせいたします。

#### ◆都駒祭について

9月9日(土)・10日(日)に開催されます。松桜会としては仰光祭を公開します。

#### ◆松桜会年会費免除のお知らせ

松桜会では1口千円からのご寄付を受け付けています。皆さまの駒祭参加時のお手伝いなど、同窓会活動にご参加いただける方を募ります。

#### ◆お手伝いのお願い

松桜会では会報の発送作業、都駒祭参加時のお手伝いなど、同窓会活動にご参加いただける方を募集中です。

#### ◆ご寄付のお願い

松桜会では会報の発送作業、都駒祭参加時のお手伝いなど、同窓会活動にご参加いただける方を募集中です。

#### 名古屋支部閉鎖のお知らせ

長い間活発に活動を続けてきた名古屋支部が、残念ながら本年6月をもって活動を終えました。また支部閉鎖にともない、9万296円のご寄付をいただきました。名古屋支部の皆さまに厚く御礼申し上げます。

#### 支部活動について

新たに支部を立ち上げ活動をお考えの方は松桜会事務局までお知らせください。

#### 計報

山本 恒太郎先生(元教頭)

(2020年9月25日)

謹んでご冥福をお祈りいたします

# 松桜会講座 のお知らせ (令和5年度下期)

9/15(金)  
締切(必着)

対象者：駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員他

申込方法：往復はがきに、次の内容を記入してください。

①講座名 ②郵便番号・住所 ③携帯及び固定電話番号 ④氏名

⑤会員一卒業回 教職員一所属 P T A会員ーお子様の氏名・学年・ホーム

☆返信はがきに宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき1枚でお申し込みください。

申込先：〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内 (-財)駒場松桜会事務局

## A 講座

講師 萩原 千鶴  
(駒22)

お茶の水女子大学卒・同大学院修了。専門は日本上代文学。現在、お茶の水女子大学名誉教授・大阪府高齢者大学校講師・島根県奥出雲町特別顧問など。

### 『万葉集』と神話

『万葉集』中、屈指の歌人である柿本人麻呂には、『古事記』や『日本書紀』に連なるような神話を詠み込んだ歌がいくつかあります。それらを読み解くことを通じて、國家神話の創成される過程を探り、歌の担う意義に留意しつつ、古代の人々の時間意識や空間意識の一端に迫ってみたいと思います。

第1回 近江荒都歌—神話と歴史の形成—

第2回 石中死人歌—国土の生成と祈り—

11/4(土)・12/9(土)  
10:30 ~ 13:00

定員：25名  
受講料：2,000円  
会場：母校東館和室

## B 講座

企画  
講座部会

### J R中央・総武線の駅から歩く路地めぐりⅣ 一浅草橋・両国駅一

1. 浅草橋駅から：浅草観音への唯一の道であった水戸街道を中心に江戸時代の文化遺産をめぐる。
2. 両国駅から：太古に海だった干潟からは、川向うの江戸の町並み越しに富士が見えた。そうした国境の新開地両国を歩く。

10/21(土)・12/2(土)  
10:00 駅出発  
12:00 解散予定

諸般の情勢により、日程の変更や中止になる場合もありますので、ご了承ください。

定員：30名  
受講料：1,500円  
(含 資料代、保険料)

## 参加者の声

### 「J R中央・総武線の駅から歩く路地めぐりⅢ」に参加して

当講座は、昨年の「市ヶ谷駅・飯田橋駅」の回から参加し、今回で二回目です。午前中の2時間程を都内の隠れた名所を散策しながら、日頃の運動不足解消と、様々な発見で脳を刺激する興味深い体験でした。今回の発見は、本郷の坂はきつい。本郷給水所公苑の薔薇園が見事。樋口一葉の暮らした横丁と共同井戸や、彼女なじみの質屋の建物が残っていて、その井戸の水は少し冷たくておいしかったでした。又、この講座は特に近現代史に興味のある方には、楽しめることがあります。参加者の年代は駒一柄の大先輩から概ね中高年世代まで。それを卒業年の新しい十数人のグループに分けて、各々世話役の方が各見所を説明しながら案内するスタイルは素晴らしい。その道中は思い出話等に花が咲き、同窓会の様な時も過ごせます。最後に、当講座の企画・計画・準備・当日の引率等スタッフの方々に感謝の意を表し、感想とさせて頂きます。

原田 裕子(旧姓 横尾)(駒37)

当講座は、昨年の「市ヶ谷駅・飯田橋駅」の回から参加し、今回で二回目です。午前中の2時間程を都内の隠れた名所を散策しながら、日頃の運動不足解消と、様々な発見で脳を刺激する興味深い体験でした。今回の発見は、本郷の坂はきつい。本郷給水所公苑の薔薇園が見事。樋口一葉の暮らした横丁と共同井戸や、彼女なじみの質屋の建物が残っていて、その井戸の水は少し冷たくておいしかったでした。又、この講座は特に近現代史に興味のある方には、楽しめることがあります。参加者の年代は駒一柄の大先輩から概ね中高年世代まで。それを卒業年の新しい十数人のグループに分けて、各々世話役の方が各見所を説明しながら案内するスタイルは素晴らしい。その道中は思い出話等に花が咲き、同窓会の様な時も過ごせます。最後に、当講座の企画・計画・準備・当日の引率等スタッフの方々に感謝の意を表し、感想とさせて頂きます。

林理(駒27)

- 一般財団法人東京都立駒場高等学校同窓会・駒場松桜会
- 松桜会会報発行** (第4条-1)  
4月1日号(109号) 9月1日号(110号)  
発行部数 各2万部
  - 総会** (第4条-2)  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
  - 助成金** (第4条-4) 都立駒場高等学校へ  
生徒会へ贈呈  
全国大会出場の部活動を支援  
懸垂幕購入費用をPTAとともに支援  
新規導入された授業「総合的な探求の時間」の外部講師費用を支援
  - 松桜会講座開催** (第4条-3)  
上期講座(令和4年4月~9月)  
A講座 身近な最新の法律問題 全2回  
講師: 審金敏明(駒17)弁護士、元東京地裁裁判官、東京法務局長  
受講料1,000円 受講者23名  
B講座 JR中央・総武線の駅から歩く路地めぐり I  
—信濃町駅・四谷駅— 全2回  
講座企画 受講料1,500円 受講者50名  
C講座 文楽観劇  
5月13日(金) 国立劇場小劇場にて  
義経千本桜  
受講料6,300円 受講者18名
  - 下期講座** (令和4年10月~令和5年3月)  
A講座 やぶにらみの心理学 全3回  
講師: 石井康智(駒17)早稲田大学文学部名誉教授  
受講料1,500円 受講者22名  
B講座 JR中央・総武線の駅から歩く路地めぐり II  
—市ヶ谷駅・飯田橋駅— 全2回  
講座企画 受講料1,500円 受講者54名  
C講座 歌舞伎公演観劇  
1月20日(金) 国立劇場大劇場にて  
受講料10,800円 受講者20名
  - 松桜会コンサート** (第4条-2)  
11月26日(土) 14:00  
東京オペラシティリサイタルホールにて開催  
ピアノとチェロの午後のひととき  
出演: 土屋美寧子(ピアノ)(駒20)  
ゲスト堀沙也香(チェロ)  
入場料3,000円 来場者119名
  - 美術展** (第4条-2)  
都駒祭不参加にともない美術展は開催せず
  - 都駒祭参加** (第4条-2)  
都駒祭は学内ののみの開催で松桜会は不参加
  - コチロンを踊る会** (第4条-3)  
新型コロナウイルス感染拡大防止のために練習会はすべて休止
  - ホームページ** (第4条-5)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

単位:円

科 目	公益実施事業会計		同窓会事業会計	法人会計	合 計
	継続事業1	継続事業2			
一般正味財産増減額の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
事業収益					
音楽会	302,000		302,000		302,000
講座	541,400		541,400		541,400
同窓会年会費			3,132,000	348,000	3,480,000
同窓会入会金			1,305,000		1,305,000
集いの会					
その他			1,705,509		1,705,509
受取利息				858	858
経常収益計	843,400		843,400	6,142,509	348,858
					7,334,767
(2) 経常費用					
事業費					
音楽会経費	540,285		540,285		540,285
講座経費	516,460		516,460		516,460
美術展経費					
コチロン経費					
助成金(高校)		1,367,500	1,367,500		1,367,500
H P維持費	83,600		83,600	41,800	125,400
集いの会経費					
会報発行費	234,850		234,850	704,550	939,400
会報発送費	874,831		874,831	2,624,493	3,499,324
名簿維持費				121,000	121,000
組織維持費					98,630
諸手当	186,200	13,300	199,500	399,000	598,500
消耗品費	90,826	6,489	97,315	194,627	291,942
通信費	33,260	2,376	35,636	71,270	106,906
交通費	140,253	7,382	147,635	118,108	265,743
水道光熱費	6,060	433	6,493	12,986	19,479
交際費	907	65	972	1,944	2,916
支払手数料	12,187	718	12,905	12,904	25,809
管理費					
諸手当				66,500	66,500
会議費				11,977	11,977
消耗品費				32,437	32,437
通信費				11,878	11,878
交通費				29,527	29,527
水道光熱費				2,164	2,164
交際費				324	324
支払手数料				2,867	2,867
経常費用計	2,719,719	1,398,263	4,117,982	4,302,682	256,304
当期経常増減額	▲ 1,876,319	▲ 1,398,263	▲ 3,274,582	1,839,827	92,554
当期一般正味財産増減額			▲ 3,274,582	1,839,827	92,554
一般正味財産額期首残高			29,800,835	20,646,740	524,152
一般正味財産額期末残高			26,526,253	22,486,567	616,706
正味財産期末残高			26,526,253	22,486,567	49,629,526

令和5年4月24日 三上真喜子・山根勉・三好達雄監事により監査、承認をうけました。

